

研究実施のお知らせ

研究課題名：抗血栓薬を服用している頭部外傷症例の疫学研究

研究期間：仙台市立病院倫理審査委員会承認日～令和3年5月30日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

対象期間中に当院で頭部外傷により入院し治療を受けられた受傷時年齢65歳以上の方。ただし、慢性硬膜下血腫および来院時心肺停止例は除外します。

【研究の目的と意義】

日本社会の高齢化により頭部外傷患者も高齢化が進んでいます。近年では高齢者の抗血栓薬の服用率の上昇が問題視されています。なぜならば、抗血栓薬の服用が高齢者頭部外傷の転帰を悪くしている可能性があるからです。このような患者さんの各施設から提供された情報を用いて調査を行い、抗血栓薬の中和による治療効果を明らかにし高齢者頭部外傷の転帰改善に役立てたいと考えています。

【研究の方法】

患者さんの入院時の状態や治療内容に関する情報が、各参加施設からwebアプリを用いてデータベースに登録されます。各施設から提供された情報を用い、患者さんの状態や治療法によって、患者さんの転帰がどのように異なるかを解析します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報（年齢・性別・受傷機転・診断・抗血栓薬の服用状況・抗血栓薬の中和状況・転帰等）を研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究の実施体制】

この研究は、多施設共同研究として、以下の共同研究機関で実施されます。

研究代表者：

山口大学脳神経外科 鈴木倫保

研究参加施設：

日本医科大学 横堀将司

済生会滋賀県病院 塩見直人

千葉県救急医療センター 宮田昭宏

香川大学 河北賢哉

聖マリアンナ医科大学 大塩恒太郎

日本大学 前田剛

仙台市立病院 刈部博

帝京大学 大貫隆広

岩手医科大学 小守林靖一

熊本赤十字病院 長谷川秀

東京医科歯科大学 稲次基希
加古川医療センター 相原英夫
土浦協同病院 廣田晋
国立病院機構災害医療センター 八ツ繁寛

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 脳神経外科
科部長 刈部 博（当院の研究責任者）
仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号
電話：022-308-7111（代表）